

講義名	現代ビジネス		
科目区分	学部専門基礎		
担当教員	青木 良三		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科/2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2019年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義の主題は、現代のビジネスで起きている出来事を経営学の観点から解説することにあります。</li> <li>・授業ではビジネスの世界で起きている出来事を取り上げ経営学の用語を使って解説します。</li> <li>・「経営学入門」で修得した経営学の用語はしっかり理解していることを前提とします。</li> <li>・理論をしっかり学習したい学生は、「経営戦略論A、B」を履修してください。</li> <li>・授業のレベルは、初級レベルの「経営学入門」と中級レベルの「経営戦略論A、B」の中間のレベルとします。</li> </ul>

<b>到達目標</b>
<p>①学生は、本講義を受講することによって、ビジネスを経営学の観点から理解できるようになります。②学生は、ビジネス関連の記事に関心をもつようになり、その記事を解説できるようになります。</p>

<b>提出課題</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出課題は、ありません。コピペしたレポートが多いからです。</li> <li>・レポートの提出は、任意とします。</li> </ul>

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言にコメントします。</li> </ul>

<b>評価の基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験の結果で評価します。</li> <li>・ただし、授業中に発言すると、1回1点、最大30点まで評価します。期末試験の結果に、発言で得た点を加算します。双方向の授業を行いたいため、授業中の発言を歓迎します。</li> <li>・レポートは、義務ではありませんが、コピペでない優れた内容のレポートは、成績評価の際考慮します。</li> </ul>

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験は、授業中に話したことや板書した事柄、授業中に配布した資料から出題します。授業の欠席が多いと、試験で得点するのがむずかしくなるので気を付けてください。</li> <li>・私語等により他の受講生の迷惑をかける学生には退室を命じます。その指示に従わない場合には、減点します。</li> </ul>

<b>教科書</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書は使用しません。</li> </ul>

<b>プリント資料及び参考文献</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・RYUKA Portal から資料をダウンロードできます。</li> <li>・教科書はありませんから、資料を必ずダウンロードして、授業の際に持って来るようにしてください。</li> </ul>

<b>授業計画</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アマゾン① 書籍のネット販売からプラットフォームへ</li> <li>2. アマゾン② サブスクリプション</li> <li>3. アマゾン③ 物流 ネットスーパーに進出</li> <li>4. ソフトバンク・グループの戦略① ヤフーショッピングほか</li> <li>5. ソフトバンク・グループの戦略② M&amp;A、ファンド事業ほか</li> <li>6. アップル① 市場創造戦略 iPhone インターフェース デザイン</li> <li>7. アップル② ブランドロイヤリティ 顧客の囲い込み</li> <li>8. ソニー① ビジネスモデルの転換 ネットビジネス</li> <li>9. ソニー② エンターテインメント・ビジネス（ゲーム、音楽、映画）</li> <li>10. イノベーション① 5G</li> <li>11. イノベーション② AI</li> <li>12. イノベーション③ 自動運転</li> <li>13. クラウドファンディングほか</li> <li>14. デジタルマーケティング</li> <li>15. ビジネスのデジタル化</li> </ol>

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ア：PBL（課題解決型学習）</li> <li>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</li> <li>ウ：ディスカッション、ディベート</li> <li>エ：グループワーク</li> <li>オ：プレゼンテーション</li> <li>カ：実習、フィールドワーク</li> </ul>

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習について、テキストはありませんが、参考文献やシラバスに記載した企業に関する雑誌記事、新聞記事を読んでおいてください。</li> <li>・復習は、配布した資料を読んで、出てくる経営学の用語の意味をしっかりと理解し、使えるまで学習してください。</li> <li>・予習に1時間、復習に1時間が目安となります。</li> </ul>

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に質問をします。学生は、積極的に発言するように心がけてください。</li> </ul>

<b>実務経験の有無及び活用</b>

<b>備考</b>